

第10回

婦人週間

育てましょう

正しい協同活動を

婦人週間とは

昭和21年4月10日に日本の婦人はじめて国会議員を選挙しました。この選挙から婦人も男子と同じく政治に参加することになりました。

この4月10日を記念し労働省では昭和24年から毎年その日から一週間を“婦人週間”として婦人の地位をほんとうにたかめるための運動を主唱してきました。今年はその第10回目にあたり特に“正しい協同活動をとおして婦人の力を役立てる”ということを目標としています。


このリーフレットの増刷 転載を希望される向は 労働省婦人少年局又は各都道府県の婦人少年室に御連絡下さい

1958年3月 労働省婦人少年局




労働省婦人少年局

リーフレット No. 67

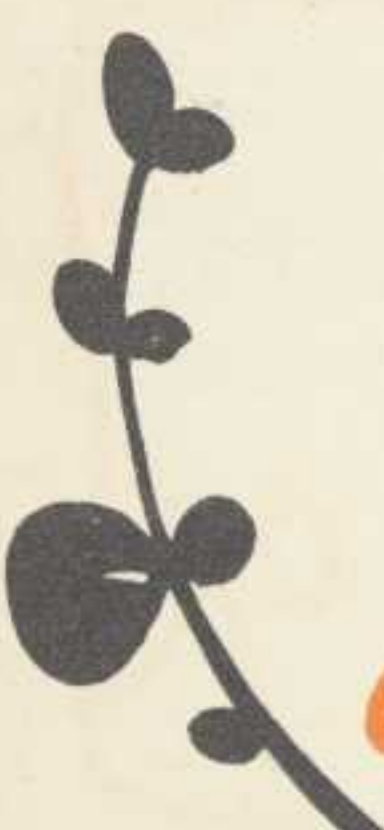


あなたは いま
くらしをあかるくするために
“こうなったらよい”と思う
ことはありませんか

家庭のことで
地域のことで
世の中のことで

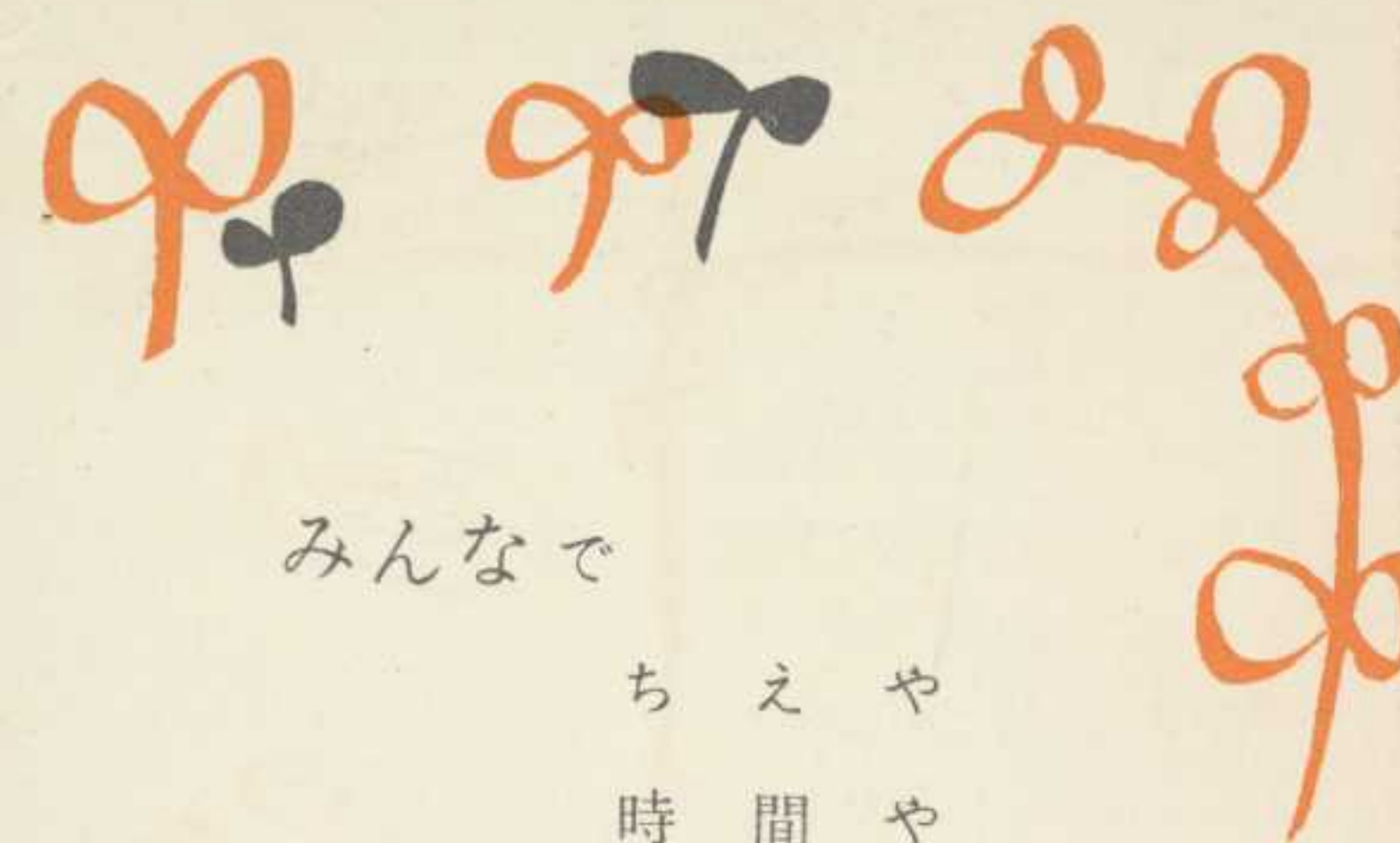


あなたのまわりに
あなたと同じ希望をもった人は
いらっしやいませんか




その人たちと一しょに
力をあわせてみようとお考えに
なったことはないでしょうか

婦 人 の 力 を や く
正 し い 協 同




みんなで

ち え や
時 間 や
労 働 や
技 術 や
場 所 や
お 金 や
物 などを



だしあって 努力して
みましょう

それが **協同活動** です



だ て ま し よ う
活 動 を と お し て

生活をささえるために

未亡人数人が協力しあい 大学の中に売店を開いてお互いの生計をささえあっています またこの人たちは親もとはなれた学生の よい相談相手にもなっています

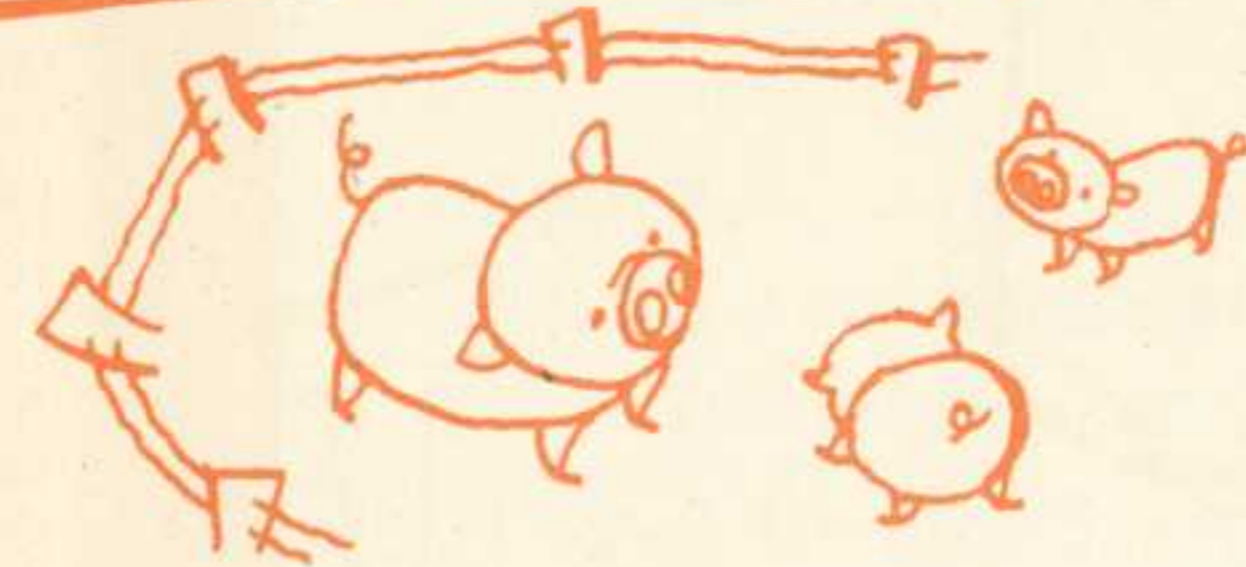
子供のしあわせのために

アパートに住む母親たちは 安全な子供の遊び場がなくて困っていましたが みんなが相談し 廃品を売ったり工を手伝ったりして 砂場や鉄棒をつくりました



村や町を清けつにするために

ある町の婦人たちは衛生上から 10軒ごとに石油の空罐をおいて台所の残物を処理しています そのため各家庭のごみ箱にうじがわかなくなりました さらにその残物を豚の飼料として 売って収入もあげています



私たちのみぢかなところには こんな 協同活動の例があります



生活の合理化のために

村の生活改善グループでは 卵貯金や共同畑などの収入で 共同せんたく場をつくり 電気せんたく機やアイロンもそなえました それで せんたくが大へん楽になりました

売春の防止のために

婦人団体 労組などのいろいろな団体が組織をこえ地域をこえて 売春をなくすために力をあわせています

働く青少年女のために

ある商店街では一せい休業を実施していますが 店員の休日を有効にまた楽しくすごさせるように その地域の主婦たちが援助の手をさしのべています

老人のために

老人のしあわせのために老人ホームをつくろうと 広く地域の人々によびかけて 理解や協力を求めている婦人のグループがあります その熱意により 後援会もでき 近く願いがかなうことになりました



協同活動をするうえで

大切なことは……

- ・社会的良心にもとづいた活動
- ・具体的な目標とプログラム
- ・自主的な参加

- ・民主的なきまりと円滑な運営
- ・はっきりした役わりとチームワーク
- ・参加者みんなの平等な権利と義務

- ・大きな組織の場合はとくに
団体運営の技術の十分な研究
新しい指導者の養成